



## センターニュースをお読みの皆様へ

平成29年4月にリハビリテーション部部長の重任を仰せつかりました。私は平成7年にリハビリテーション科専門医を取得後、一般病床で脳卒中や神経筋疾患などのリハビリテーション医療を経験し、平成18年より当センターに勤務するようになりました。

リハビリテーション医学は「活動を育む医学」とも呼ばれます。その根底には利用者様

からのニーズがあり、多職種連携のもとに「家族を中心としたサービス」が展開されなければなりません。このような視点に立って、今後とも利用者様の活動・生活を支援していけるよう、リハビリテーション部一丸となって努力して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いたします。



リハビリテーション部  
部長  
問川 博之

### 島田療育センター

# わいわい祭り 2017

見事な秋晴れとなった9月9日（土）、当センターの年に一度のイベントである「わいわい祭り2017」を開催しました。前日までは雨も続いていましたが、当日はカラリと晴れてお祭り日和。会場にはたくさんの方が訪れ、とても賑やかなお祭りとなりました。

今年度は地域の方々や団体との交流を大切にし、自立を目指す障がい者団体による演奏イベントや、就労支援事業所などによる模擬店を多く取り入れました。午後4時の開場とともにグラウンドではメインステージが始まり、チンドン屋や太鼓演奏、職員有志や障がい者団体に

よるコンサートなどが続けて披露されました。

また、わいわい祭りの目玉とも言える花火イベントでは、例年の打ち上げ花火の代わりにフラッシュモブ（会場にいるスタッフが突然踊りだす）を取り入れて会場を沸かせました。わいわい祭りの委員はもちろんのこと、当センターの幹部職員や医師も一緒になって踊りだし、最後はBGMに合わせたナイアガラで締めくくりました。

今回の参加者は、入所・通所のご家族が228名、一般来場者に至っては525名と昨年度の倍近い人数となりました。たくさんの方に興味をもってご参加いただいたことを大変嬉しく思います。また、島田療育センターを守る会様をはじめ、当日の運営にご協力くださった皆様、飲食物や景品などご協賛をくださった皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

（わいわい祭り実行委員 神田 水太）



各病棟からの聖火リレーで花火に点火するはずがトラブル！…と見せかけて職員が一斉に踊り始めるサプライズ企画。



OHANAプロジェクトきらりの皆さんからは、軽快なお囃子と太鼓の演奏が披露されました。



当センター職員が行った地域交流活動「しんぼく」では、来場者も一緒に楽しめる音楽交流活動を行いました。



ダンス後は改めて花火点火のカウントダウン！締めくくりとなるナイアガラ花火はBGMとのタイミングもバッチリ！



自立ステーションつばさの皆さんからは、障害者差別解消法への理解を深める歌と踊りが披露されました。



厚生棟は飲食ブースとして多くの模擬店が並びました。



## わいわい祭り会場内の様子



似顔絵のオウスケさんには利用者様の似顔絵をたくさん描いていただきました。



山野美容芸術短期大学の皆さんは、入所利用者様を素敵にメイクアップしてくださいました。



多摩スマイル吹奏楽団の皆さんは、各病棟で馴染みのある曲をたくさん演奏してくださいました。



チンドン屋さんには各病棟やグラウンドを演奏しながら練り歩きました。



保育士さんのわいわいポケットでは、当センターの保育士によるオリジナルうちわ制作や指遊びが行われました。



外来エリアでは、ピコピコルームのゲームや情報ボランティア障害者支援の会による展示などが行われました。



人気の中央冷凍産業様による氷の彫像。今年は氷のペンギンの親子が暑い会場に涼しさを届けてくれました。



島田療育センターを守る会の皆様は、パチンコ台の貸出や、ボランティアとして当日の運営にご協力くださいました。



3階の食堂では、工房ジャルデニエールさんの喫茶で大賑わい。介護食あいーとの試食コーナーもありました。



## 歳入歳出決算報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

勘定科目		本部	多摩	はちおうじ	合計
	サービス活動収益計 (1)	23,594,137	4,091,674,557	578,005,971	4,693,274,665
	サービス活動費用計 (2)	15,606,983	3,955,180,369	561,574,554	4,532,361,906
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	7,987,154	136,494,188	16,431,417	160,912,759
	サービス活動外収益計 (4)	18,657	29,001,180	1,444,820	30,464,657
	サービス活動外費用計 (5)	716,369	634,635	1,762	1,352,766
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	-697,712	28,366,545	1,443,058	29,111,891
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		7,289,442	164,860,733	17,874,475	190,024,650
	特別収益計 (8)	184,030	14,448,621	0	14,632,651
	特別費用計 (9)	0	217,657,517	2	217,657,519
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)	184,030	-203,208,896	-2	-203,024,868
税引前当期活動増減差額		7,473,472	-38,348,163	17,874,473	-13,000,218
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		7,473,472	-38,348,163	17,874,473	-13,000,218
繰越額	前期繰越活動増減差額 (12)	80,787,826	-325,638,682	135,539,911	-109,310,945
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	88,261,298	-363,986,845	153,414,384	-122,311,163
	基本金取崩額 (14)	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	216,750,000	0	0	216,750,000
	その他の積立金積立額 (16)	0	12,000,000	0	12,000,000
次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)		305,011,298	-375,986,845	153,414,384	82,438,837





## 宿泊会

7月27日(木)から28日(金)、8月9日(水)から10日(木)にデイケアセンターの毎年恒例行事である宿泊会が行われました。

1日目の午後は利用者様参加型の読み語り会。利用者様がそれぞれの役になりきり、笑顔いっぱいを楽しんでいました。また、夕方にはスクリーンでオーケストラを鑑賞したり、金魚すくいをしたりと、各班とも賑やかに過ごしていました。

2日目は、制作活動が行われました。今年はクリアファイルに、魚たちのシールを貼り、皆それぞれに海の世界を表現していました。作品を手に帰宅される際は、きっと仲間たちと過ごした2日間を思い出し、ご家族に笑顔を見せてくれたことでしょう。

(介護福祉士 松尾 真治・小林 尚美)



## 東京都立多摩桜の丘学園 公開講座 障害者本人のための レクリエーション講座 本人講座

7月29日(土)午後、音楽ボランティアネットワーク『音種♪』の皆様をお招きし、本人講座を開催しました。歌・ピアノ・ギター・ドラム・舞踊と、音楽を幅広く楽しませてくださった『音種♪』の皆様。心地よい歌声、素敵な音色、柔らかなダンスに心を解きほぐされ、うっとりされていらっしゃる利用者様の表情がとても印象的でした。病棟へのライブ中継も行い、多くの利用者様に温かく優しい時間をお送りすることができました。

(都立多摩桜の丘学園 島田分教室 中山 彩)



## トーンチャイムコンサート

8月8日(火)午後、『シルベスタ・ベル・クワイア』の皆様をデイケアセンターにお迎えし、トーンチャイムコンサートを開催しました。

当日は、幼児部、青年部に加えて、夏休みデイサービスの皆さんも揃っての鑑賞となり、代表で指揮者の菅野真子先生にマイクをお渡しするのはじまりです。いつもは楽しいおしゃべりで雰囲気盛り上げて下さるのですが、今回は急きょ演奏もされることになり、指揮に演奏にと大忙しのご様子で、お話は少なめでした。10名の皆様による演奏はいつもながら素敵で、透明感のあるトーンチャイムの音色に、ひととき暑さを忘れるようでした。途中、演奏に合わせてコーラスも披露され、耳なじみのある童謡が聴こえてくると、声を出して笑う方や一緒に歌い出す利用者様もいて、和やかな空気に包まれました。曲にまつわる色々なお話などを交えながらのとても楽しいコンサートでした。

(療育主任 新明 広子)



## ヘルプ・ブラス・バンド の皆様による 真夏のコンサート

8月27日(日)の午後、厚生棟研修室に「ヘルプ・ブラス・バンド」の皆様をお迎えしました。小学生から社会人までのメンバー編成で、元気に楽しく会場を盛り上げて下さいました。素晴らしい演奏と、笑顔にあふれたダンスパフォーマンスに利用者様も興奮気味でした。今回の曲目を紹介します。

- 美女と野獣
- テキーラ
- 勇気100%
- 恋
- SMAPメドレー
- サウスポー
- ドリフターズメドレー
- おどるポンポコリン 他

最後は、毎回恒例となりました西城秀樹の「YMCA」を会場全体で歌って踊って終演しました。

(編集委員 高橋 節夫)





## 内部研修 接遇・マナー研修

7月24日(月)に、外部講師による職員向け接遇・マナー研修を開催しました。主任以上の職員や、接遇リーダー、マナー係といった接遇向上を推進する立場の職員62名が受講しました。



研修はグループ内での自己紹介から始まり、相手と話しやすくなる配慮や、言葉遣いだけでなく表情や仕草からもメッセージが伝わることなど具体例を交えながら学びました。また、相手が腕組みや足組みをしていたり、自分との距離が近すぎると不快に感じることを体験するなどし、普段の利用者様への対応を振り返る機会となりました。(編集委員 神田 水太)



## 内部研修 医療安全講習会

9月13(水)、25日(月)の2日間、厚生棟にて薬剤科の桑尾科長を講師に、第1回医療安全講習会が開催されました。当センターでは管理が厳しく定められている向精神薬の処方量が多いので、向精神薬についてとその管理、温度管理医薬品について、定時薬の使用状況等の説明がありました。更に、薬剤科が1冊ずつ手作りしている「採用医薬品一覧」を配布して、その見方と使用時に注意が必要な薬剤の注意事項についてのお話がありました。この研修を機に正しい管理と使用を見直しましょう。



(編集委員 中野 智子)

## おしらせコーナー



### 書籍のご寄贈をいただきました



7月末に、グループまんてん様より療育図書33冊のご寄贈をいただきました。いただいた書籍は情報資料室くつつろぎにてご覧いただけます。ご寄贈ありがとうございました。

### 第13回心理講演会 家庭や学校、地域でできる 不安が強い子どもの理解と支援

日時 平成29年10月29日(日)  
10:00~12:30(受付9:30~)  
会場 島田療育センター厚生棟  
定員 135名(要事前申込)  
費用 1,000円

お申込みはホームページより行えます。スマートフォンの方は右下のQRコードを読み取ってください。



### 第13回島田セミナー きょうだい支援を考える

日時 平成29年11月11日(土)  
14:00~17:00  
会場 島田療育センター厚生棟  
定員 150名(要事前申込)  
費用 医師・歯科医師1,000円  
その他500円・学生無料

お申込みはホームページより行えます。スマートフォンの方は右下のQRコードを読み取ってください。



## shot! ひと息

### 夏の思い出



## 実習生受入状況

平成29年8月~平成29年9月

種別	人数	種別	人数
看護師	56名	理学療法士	9名
介護福祉士	15名	作業療法士	1名
社会福祉士	1名	心理判定員	13名
研修医	1名	※介護等体験実習の数は含みません	

